

# 滝高フロンティアサイエンス通信

2013, 4, 9 発行  
SSH・理数科

## 平成25年度スーパーサイエンスハイスクール研究指定校に決定

昨日、始業式にて校長先生から説明がありましたが、今年度より本校は文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されました。また、昨日の入学式では、保護者の方に対し、理数科LHRで理数科1年生に対し、SSH・理数科部長の菊池先生から概要説明がありました。

- SSHとは ①文部科学省から指定された事業です  
②全国で約200校、道内は10校です。
- SSHの目的 ①未来を担う科学技術系の人材育成  
→理数教育の充実
- SSHの期間 今年から5年間
- SSHの予算 約6000万円程度の予算がつきます
- テーマは 「環境共生」滝高フロンティアサイエンス
- SSHの取組 理数科が主になりますが、普通科でも学校設定科目を導入し全校をあげた取組です。  
具体的にはフィールドワークを中心にした校外研修や大学企業での研修、課題研究やSS科目でのプログラム、その他、道外、海外研修やサイエンスキャンプ参加等。
- SSHと受験 SSHで培われる思考力、判断力、表現力は最近の大学入試で特に問われる学力です。  
今後ますます重視される学力です。



本校の研究開発課題名は『**滝高フロンティアサイエンス プラン (TFS プラン)**』です。

本校では「北海道空知から世界へ」、「過去から未来へ」の視座から、「環境共生」をメインテーマに先進的な理数教育プログラム（TFSプラン）の研究開発を行うことを目的にしています。

また、科学技術創造立国日本を支え、知の世紀を迎えた国際社会をリードする人材を輩出し、社会における科学技術の役割を理解し、その発達を支えるリーダーを育成することを目標にしています。

### SSHの取り組みは、大きく4本の柱を考えています。

- ① **科学する心・科学リテラシーの育成をはかるSTCプラン (Science Thinking and Communication)**  
理数科では学校設定科目フロンティアサイエンスの中で体験的活動、探求活動を中心とした学習を行います。研究成果をまとめ発表することで表現力を育てます。理数科、普通科共通の取り組みとしては学校設定科目SS理科、SS数学、SS各科目を設定し、自然科学全般に対する知識の習得や科学的思考力を育てます。また他校、他地域の中高生との交流を図る機会を計画しています
- ② **英語力の向上と国際貢献能力の育成をはかるSGAプラン (Science Global Act)**  
理数科では学校設定科目フロンティアサイエンスの中で科学英語として英語の研究論文を読んだり、研究内容を英語でまとめ発表したりします。理数科普通科共通の取り組みとしてはSS特別活動で海外での研究活動や研究者や現地高校生との交流プログラムを計画します。
- ③ **最先端科学技術分野のキャリア育成をはかるSTRプラン (Science Top Runner)**  
理数科では大学や企業などの研究機関と連携し最先端科学技術について実際に実験実習に取り組んだり、講義を受講したりします。理数科普通科共通のプログラムとしては第一線で活躍する研究者の講演を聴いたり、道外、海外でのサイエンスキャンプ等のプログラムに参加することを計画しています。
- ④ **地域探求開発能力の育成をはかるSLAプラン (Science Local Act)**  
理数科では地域の自然環境をフィールドに野外調査を継続的に実施します。理数科普通科共通の取り組みとしては、フロンティアサイエンスやSS理科の中で積極的に野外調査活動を実施します。